様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	一関工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	未来創造工学科	夜・通信	－	10	4	14	7	
		夜・通信						
	システム創造工学専攻	夜・通信		12	0	12	7	
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ichinoseki.ac.jp/about/disclosure.html

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	一関工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表
https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/yakuin.pdf
（https://www.kosen-k.go.jp/release/independence#link01）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	理事長
常勤	九州大学大学院総合理工学府長・研究院長	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	国際交流･海外展開情報システム
非常勤	東京大学教授	2022 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	男女共同参画
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	一関工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 全授業科目にかかる授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を作成し,「web シラバス」において公表している。 授業計画（シラバス）は、前年度の１～２月に全科目担当教員が作成し、３月に翌年度開講する全科目のシラバスを公開している。	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=06
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 各授業科目のシラバスにおいて、学修成果の評価方法（試験，レポート，課題等。各割合を含む。）を明示しており、評価基準については一関工業高等専門学校の学業成績の評価並びに学年の課程の修了，進級及び卒業の認定に関する規則において評価基準を定めており、厳格かつ適正に学修成果を評価し、単位を認定している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績の評価は、試験のみならず、課題など平素の学習状況も含め総合的に行われ、、100 点法により行っている。各科目の具体的な評価方法や試験、課題等の割合については、各科目担当教員が定め、シラバスに明示している。

また、履修した科目の単位修得には、学年の評価として第１学年から第３学年は５０点以上の評価点を必要とし、 第４学年及び第５学年は６０点以上の評価点を必要としている。

学年の評価は、当該学年末に確定し、その学年の評価に基づく学業成績を「優」、「良」、「可」及び「不可」の評語によって表している。

学年／評語	第1学年から第3学年	第４学年及び第５学年
優	８０点以上	８０点以上
良	７０点以上８０点未満	７０点以上８０点未満
可	５０点以上７０点未満	６０点以上７０点未満
不可	５０点未満	６０点未満

客観的な指標として、学年末に確定した学年の評価に基づき、各科目の評価点の平均点を算出し、この平均点の順位により、学級ごとの席次を計算する。

※平均点には、課題研究、特別学修及び以下に掲げる科目は算入しない。

『第１学年』: 系導入セミナー

『第３～５学年』: 校外実習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB

『第４～５学年』: 分野展開・系発展科目のうち、選択した分野以外の分野の科目

評価の結果は、前期末及び学年末に学生本人及び保護者に通知する。

通知する内容は、履修した各科目の評価点及び学級平均点、履修した全科目の評価点の平均点（席次計算に用いる平均点）及び学級平均点、平均点に基づく学級での席次である。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ichinoseki.ac.jp/about/disclosure.html

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本科

教育目標に基づく以下に示す能力を身に付け、所定の単位を修得したものに対して、準学士課程の卒業を認定します。

⑴国際社会の一員として活動できる。
⑵誠実で豊かな人間性と広い視野をもつ。
⑶広い分野の基礎知識と優れた創造力・開発力をもつ。
⑷継続的に努力する姿勢とさかんな研究心をもつ。
⑸協調性と積極性をもち信頼される。
⑹技術と社会や自然との係わりを理解し社会的責任を自覚できる。

専政科

教育目標に基づく以下に示す能力を身に付け、所定の単位を修得したものに対して、専攻科課程の修了を認定します。

⑴国際社会の一員として活動できるよう、英語によるコミュニケーションができる。
⑵誠実で豊かな人間性と広い視野をもち、多様な価値観を理解することができる
⑶広い分野の基礎知識と優れた創造力・開発力を持つため、複合領域の知識・技術を身に付け、様々な視点から論理的に考えることができる。
⑷継続的に努力する姿勢とさかんな研究心をもち、課題解決に自主的に取り組むことができる。
⑸自らの考えを持ちつつ、他者と協調して活動することができる。
⑹技術と社会や自然との係わりを理解しながら、社会的責任を自覚して、適切な判断ができる。

上記のディプロマ・ポリシーに沿った能力を身に付けさせるための教育課程を、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）に基づき編成・実施しており、一関工業高等専門学校の学業成績の評価並びに学年の課程の修了、進級及び卒業の認定に関する規則において卒業の認定に必要な単位数等を周知・公表している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	一関工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/zaimusyohyoR5.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/zaimusyohyoR5.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）
財産目録	
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/R5jigyouhoukoku.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/assets/pdf/release/225/R5jikotennkennhyouka.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画　対象年度：令和７年度）
公表方法：https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/03/r7-keikaku.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）
中長期計画（名称：独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画　対象年度：令和６年度から令和 10 年度）
公表方法：https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/03/5th-keikaku.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法： https://www.ichinoseki.ac.jp/about/pdf/jikotenken/jikohyouka.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法： https://www.ichinoseki.ac.jp/about/pdf/jikotenken/INCT_hyouka_kekka.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　未来創造工学科（本科）
教育研究上の目的（公表方法：ホームページにおいて公表） https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html
（概要） 本校は、教育基本法の精神にのっとり、学校教育法及び独立行政法人国立高等専門学校機構法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：（公表方法：ホームページにおいて公表） https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html
（概要） 　教育目標に基づく以下に示す能力を身に付け、所定の単位を修得したものに対して、準学士課程の卒業を認定します。 (1)国際社会の一員として活動できる。 (2)誠実で豊かな人間性と広い視野をもつ。 (3)広い分野の基礎知識と優れた創造力・開発力をもつ。 (4)継続的に努力する姿勢とさかんな研究心をもつ。 (5)協調性と積極性をもち信頼される。 (6)技術と社会や自然との係わりを理解し社会的責任を自覚できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページにおいて公表） https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html
（概要） ○教育課程の編成方針 ディプロマ・ポリシーに基づき、一般科目、専門科目及び実験実習を低学年から高学年にかけて適切に配置し、工学分野の知識および技術を効果的に修得できるように体系的に教育課程を編成します。教育課程の編成方針を以下に示します。 ⑴外国語でのコミュニケーション能力を育成するため、低学年から高学年をとおして英語に関する科目を配置する。さらに高学年において第二外国語を配置する。 ⑵誠実で豊かな人間性を育成し、広い視野を獲得させるため、人文社会系科目を配置する。 ⑶様々な視点でものごとを論理的に考える力を育成するため、工学に関する基礎科目を配置する。 ⑷専門的な知識・技術を育成するため、工学基礎科目と連携させながら、学年の進行とともに専門科目数を多く配置する。また、基礎知識と専門分野の知識・技術を応用する力を育成し創造性を育むため、実験実習を配置する。さらに、実践的な課題解決力を育成するため、課題解決型科目を配置する。 ⑸自らの考えを持ちつつ他者と協調して活動する力を育成するため、　、グループワーク、ディスカッション及びプレゼンテーションを取り入れた科目を配置する。 ⑹技術者として社会的な責任を自覚し適切な判断ができる力を育成するため、倫理観を育む科目を配置する。また、実際に社会を経験するためにインターンシップ科目を配置する。 ○教育課程の実施方針 編成した教育課程をとおして学修の成果が効果的に得られるように、教育課程の実施方針を以下に示します。 ⑴ディプロマ・ポリシーに定めた能力の育成を教育課程の中で実現させるようシラバスを作成し、それに基づいて授業を実施します。

⑵学生の主体的学習を促進するため、授業時間外における様々な取り組みを推奨します。
⑶学修成果は成績評価で判断します。成績評価は各科目に掲げられた授業の到達目標に対する達成度について、成績評価基準に基づいて行います。

〇成績評価基準
成績評価は100点法により行い、学業成績を「優」、「良」、「可」及び「不可」の評語によって表し、その区分は下記のとおりとします。ただし、特別活動の評価の区分は、合格又は不合格とします。

学年／評語	第1学年から第3学年	第４学年及び第５学年
優	８０点以上	８０点以上
良	７０点以上８０点未満	７０点以上８０点未満
可	５０点以上７０点未満	６０点以上７０点未満
不　可	５０点未満	６０点未満

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページにおいて公表）
https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html

（概要）
〇求める学生像
・ものづくりに興味をもち、入学後の学修に対応できる基礎学力を有している人
・他者の意見を聞き、適切な判断に基づき、自らの考えを表現できる人
・他者を思いやることができ、責任ある行動をとることができる人

〇入学者選抜の基本方針
本校の求める学生像に合致した人を選抜するため、推薦による選抜(推薦選抜)、学力検査による選抜(学力選抜)、帰国生徒特別選抜を実施します。

推薦選抜では、出身中学校長から推薦された志願者のうち、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有し本校への入学意思が強い人を、調査書及び面接の総合評価によって選抜します。
学力選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、学力検査（数学、理科、英語、国語、社会）及び調査書の総合評価によって選抜します。
帰国生徒特別選抜では、外国における教育を受けた人で一定の条件を満たす志願者のうち、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、学力検査（数学、理科、英語）、作文及び面接の総合評価によって選抜します。

学部等名　システム創造工学専攻（専攻科）

教育研究上の目的（公表方法：ホームページにおいて公表）
https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html

（概要）
　本校は、教育基本法の精神にのっとり、学校教育法及び独立行政法人国立高等専門学校機構法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページにおいて公表）
https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html

（概要）
　教育目標に基づく以下に示す能力を身に付け、所定の単位を修得したものに対して、専攻科課程の修了を認定します。
⑴国際社会の一員として活動できるよう、英語によるコミュニケーションができる。
⑵誠実で豊かな人間性と広い視野をもち、多様な価値観を理解することができる
⑶広い分野の基礎知識と優れた創造力・開発力を持つため、複合領域の知識・技術を身に付け、様々な視点から論理的に考えることができる。
⑷継続的に努力する姿勢とさかんな研究心をもち、課題解決に自主的に取り組むことができる。
⑸自らの考えを持ちつつ、他者と協調して活動することができる。
⑹技術と社会や自然との係わりを理解しながら、社会的責任を自覚して、適切な判断ができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページにおいて公表）
https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html

（概要）
○教育課程の編成方針
　ディプロマ・ポリシーに基づき、一般科目、専門科目及び実験実習を適切に配置し、工学分野の知識および技術を効果的に修得できるように体系的に教育課程を編成します。教育課程の編成方針を以下に示します。
⑴外国語の読解能力・コミュニケーション能力を育成するため、英語科目及び、外国語文献講読科目を配置する。
⑵誠実で豊かな人間性を育成し、広い視野を獲得させるため、インターンシップ科目を配置する。
⑶複数の分野の知識・技術を応用して創造する力・開発する力を育成するために、工学に必要な自然科学系科目及び複数の分野に共通する専門科目を配置する。
⑷専門的な知識・技術を育成するため、専門科目を配置する。また、基礎知識と専門分野の知識・技術を応用する力を育成するため、実験実習を配置する。さらに、実践的な課題解決力を育成するため、課題解決型科目を配置する。
⑸自らの考えを持ちつつ他者と協調して活動する力を育成するため、グループワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーションを取り入れた科目を配置する。
⑹技術者として社会的な責任を自覚し適切な判断ができる力を育成するため、倫理観を育む科目を配置する。また、実際に社会を経験するためにインターンシップ科目を配置する。

○教育課程の実施方針
編成した教育課程をとおして学修の成果が効果的に得られるように、教育課程の実施方針を以下に示します。
⑴ディプロマ・ポリシーに定めた能力の育成を教育課程の中で実現させるようシラバスを作成し、それに基づいて授業を実施します。
⑵学生の主体的学習を促進するため、授業外における様々な取り組みを推奨します。
⑶学修成果は成績評価で判断します。成績評価は各科目に掲げられた授業の到達目標に対する達成度について、成績評価基準に基づいて行います。

○成績評価基準
　成績評価は 100 点法により行い、学業成績を「優」、「良」、「可」及び「不可」の評語によって表し、その区分は下記のとおりとします。
優： 80 点以上
良： 70 点以上 80 点未満
可： 60 点以上 70 点未満
不可： 60 点未満

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページにおいて公表）
https://www.ichinoseki.ac.jp/about/rinen.html

（概要）
〇求める学生像
・高等専門学校等において実践的技術者として身に付けた基礎的知識・技術をさらに高度化しようとする強い意欲を有している人
・他者の意見を聞き、適切な判断に基づき、自らの考えを表現できる人
・他者を思いやることができ、責任ある行動をとることができる人

〇入学者選抜の基本方針
　本校の求める学生像に合致した人を選抜するため、推薦による選抜（推薦選抜）、学力検査による選抜（学力選抜）、社会人特別選抜を実施します。
　推薦選抜では、出身学校長から推薦された志願者のうち、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、面接及び調査書の総合評価によって選抜します。
　学力選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、学力検査（数学、英語、専門）、調査書及び面接の総合評価によって選抜します。
　社会人特別選抜では、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、面接及び調査書の総合評価によって選抜します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページにおいて公表
https://www.ichinoseki.ac.jp/about/soshiki.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	7 人	－					7 人
未来創造工学科	－	20 人	19 人	5 人	5 人	0 人	49 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	23 人	23 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：ホームページにおいて公表 https://www.ichinoseki.ac.jp/departments.html

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
未来創造工学科	160 人	177 人	110.6%	800 人	786 人	98.3%	－人	1 人
合計	160 人	177 人	110.6%	800 人	786 人	98.3%	－人	1 人
システム創造工学専攻	16 人	20 人	125%	32 人	40 人	125%	－人	0 人
合計	16 人	20 人	125%	32 人	40 人	125%	－人	0 人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
未来創造工学科	152 人 (100%)	68 人 (44.7%)	82 人 (53.9%)	2 人 (1.3%)
合計	152 人 (100%)	68 人 (44.7%)	82 人 (53.9%)	2 人 (1.3%)
システム創造工学専攻	12 人 (100%)	3 人 (25.0%)	8 人 (66.7%)	1 人 (8.3%)
合計	12 人 (100%)	3 人 (25.0%)	8 人 (66.7%)	1 人 (8.3%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
カリキュラム・ポリシーに基づき編成された教育課程の全授業科目にかかる授業の方法 及び内容、授業計画等は、「web シラバス」において公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
成績評価は一関工業高等専門学校の学業成績の評価並びに学年の課程の修了、進級及び卒業の認定に関する規則において１００点法の評価点により行うこととしており、同規則は全学生に配付する学生便覧により周知しているほか、本校ホームページにおいて公表している。
各科目の評価の結果については、同規則に基づき、学生及び保護者に対して当該学生の平均点、クラスごとの平均点及び平均点に基づく席次（順位）を通知している。
なお、席次の算出方法については、学生便覧により周知しているほか、ホームページにおいて公表している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	未来創造工学科	１６７単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
	システム創造工学専攻	６２単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページにおいて公表
https://www.ichinoseki.ac.jp/about/data.html#03

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	未来創造工学科	234、600 円	84、600 円	9、950～ 11、150 円	（内訳） スポーツ振興センター共済掛金 1、550 円 （以下、寮生のみ） 寄宿料　8、400 円～9、600 円
	システム創造工学専攻	234、600 円	84、600 円	9、950～ 11、150 円	（内訳） スポーツ振興センター共済掛金 1、550 円 寄宿料（寮生のみ）8、400 円～ 9、600 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 本科の全クラスに担任（専攻科は各コースにコース長）を配置し学生の修学支援に当たっているほか、保健管理センターに特命助教を配置し学習面の相談を随時受け付けている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 　進路指導室を設置し学生の進路選択を支援しており、同室を中心に以下の取り組みを行っている。 　・本科１年生から３年生の各学年を対象とした「キャリア教育講演会」の実施 ・本科４年生及び専攻科１年生を対象とした「就職・進学ガイダンス」「履歴書書き方講座」の実施
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 保健管理センター（保健室、学生相談室）を設置し、定期健康診断の実施、看護師・カウンセラー等による傷病の応急手当や心身の相談等、学生を対象としたメンタルヘルス講演会の開催などの取組みを通し、心身の健康等に係る支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにおいて公表 https://www.ichinoseki.ac.jp/about/disclosure.html

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	G103110100846
学校名（○○大学 等）	一関工業高等専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		47人（　　）人	44人（　　）人	48人（　　）人
内訳	第Ⅰ区分	23人	25人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅱ区分	14人	10人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅲ区分	—	—	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	—	—	
	区分外（多子世帯）			
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（　　）人
合計（年間）				48人（　　）人

（備考）

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）		0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。		0人	0人
計		0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１		0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	人	0人	—
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	—
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。